

分 野：こども

テーマ：歯科領域における小児心身医学

職・氏名：歯科衛生学科 教授 石川 隆義

◆概要

歯科領域において小児の心身医学的問題としては、歯科治療恐怖症、神経性口腔習癖、摂食障害、口臭症（自臭症）、頸関節症などが挙げられます。これらの対応法についてお話しします。

◆内容

歯科と言えば、単に虫歯や歯周病といった身体的疾患のみを治療する診療科のようにイメージされる事が多いと思います。しかしながら、心理的諸問題を口腔器官を通して症状を出現させているケースも、歯科臨床においては少なからず遭遇します。特に小児歯科領域において心身医学的対応を要するものとしては、歯科治療恐怖症、神経性口腔習癖（指しゃぶり、歯ぎしりなど）、摂食障害（拒食症、過食症）、口臭症（自臭症）、頸関節症などが挙げられます。これらの症状を呈する小児患者と歯科医との治療関係の構築が重要となってきますが、そのためには情動的コミュニケーションを中心とした間主観的アプローチが基本となると考えています。また、小児を取り巻く環境（特に家族）の調整も重要です。小児患者の安心感と信頼感を支える中で、薬物の応用などの補助的手段も有効になってきます。

◆出講可能な時間帯

4月～7月（前期） 月曜日、火曜日、水曜日（午前）、金曜日（午前）

10月～1月（後期） 月曜日（午後）、火曜日、水曜日（午前）、金曜日（午前）

※なお、この時期・時間帯以外でのご依頼の場合は生涯学習係りまでお問い合わせ下さい。

（1）専門分野・・・・・・小児歯科学、歯科行動科学、歯科心身医学

（2）主な担当科目・・・・小児歯科学

（3）一言メッセージ・・・日本小児歯科学会専門医でもあり、子どもの口腔を通して

心身の成長・発育を見守りながら、教育・研究活動をしております。